



園だより[9月]



(ふじみこども園 HP)

令和 8 年 9 月 1 日
千代田区立ふじみこども園

先人に学ぶレジリエンス

園長 穴原 江美

今年の夏は猛暑に加えて、記録的短時間大雨や落雷など、天気の変化に見舞われることが多くありました。また、熊本地震や千葉豪雨など、自然災害の脅威を感じた夏でもありました。被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

ところで皆さんは、「〇〇の夏」というと何を思い浮かべますか？旅行、花火、盆踊り、海、山、かき氷、縁日など、他にもいろいろあるでしょう。

保育・教育関係者の間では、「研修の夏」という言葉をよく使います。夏は、様々な研究会の全国大会が地方各地で行われたり、実技研修会やサマーセミナーが開催されたりします。本園の先生たちも、様々な研修会に参加して自己研鑽を積み、研修での学びを保育・教育に生かしています。

私自身は、三つの研究会の全国大会に参加したり、地方の保育施設の視察に行ったりしました。全国大会は、普段はお会いできない全国の先生方が集まる機会なので、様々な地域の様子を聞いたり、全国の保育・教育施設や先生方の実践に触れたりすることができる貴重な学びの機会となっています。

それとともに楽しみなのが、その地域の歴史や文化に触れることです。この夏は、愛知、群馬、奈良に行ったのですが、それぞれの地域で神社や仏閣を巡りました。その中でも特に印象に残ったのは、奈良の東大寺です。南大門や大仏殿、そして大仏の大きさは圧倒的です。重機のない時代に、人だけの力で建てられたとは思えない高さ、大きさです。

積み上げられた石一つの大きさや柱の太さなどを間近で見ると、当時の苦労や大変さが思い起こされます。石や柱を運ぶのも簡単なことではなかったでしょう。もしかしたら途中で崩れることもあったかもしれません。それでも諦めずに建立したことには、携わった人々の強い思いが感じられます。

今、「レジリエンス」を育むことが大切と言われています。レジリエンスとは、困難に直面した時に、しなやかに立ち直り適応する力、回復力や復元力のことです。この夏の研修でも「レジリエンス」をキーワードに学びを深めました。そして、東大寺を建立した人々に思いを馳せる中で、このレジリエンスの高さを感じました。日々の生活や遊びの中で、子どもたちに、また私たち大人にもレジリエンスをしっかりと育てていくことの大切さを改めて感じました。

本日より9月になりますが、まだ暑い日が続きます。夏の疲れを早めに回復し、健康面に留意し、元気に過ごしていきましょう。

<9月のねらい>

0歳児 はいはい組	○体調や生活リズムを整えて、心地良く過ごす。	
	○保育者と一緒にハイハイや歩行等、体を動かしながら探索活動を楽しむ。	
1歳児 とことこ組	○保育者と一緒に、手洗いやズボンの着脱など、身の回りのことを自分でやってみようとする。	
	○音楽やリズムに合わせて体を動かしたり、戸外に出て保育者と一緒に草花に触れたりすることを楽しむ。	
2歳児 すくすく組	○保育者や友達と一緒に、全身を動かして遊ぶことを楽しむ。	
	○自分の思いを言葉にしたり、保育者の仲立ちのもと言葉のやりとりを楽しんだりする。	
3歳児 ぼうけん組	短時間 保 育	○保育者や友達と一緒に走ったり、簡単なルールのある運動遊び（「だるまさんがころんだ」や「むっくりくまさん」など）をしたりする中で、伸び伸びと体を動かして遊ぶことを楽しむ。
		○生活の流れを思い出しながら自分でできることをやってみようとし、安心して過ごす。
	長時間 保 育	○自分の思いを言葉や身振りで表現しようとし、遊びの中で保育者や友達と言葉のやりとりを楽しんだりする。
		○生活の流れを保育者と確認しながら、自分でできることを進んで行おうとする。
4歳児 わんぱく組	短時間 保 育	○友達と一緒に走ったり、かけ声や動きを合わせたりする楽しさや、玉入れをチームで競い合う面白さを味わいながら、体を伸び伸びと動かす心地よさを感じる。
		○園庭の草花を遊びに取り入れれたり、虫探しをしたりする中で、その特徴に気付き、身近な自然への興味や関心をもつ。
	長時間 保 育	○保育者や友達と一緒に走る楽しさを繰り返し味わったり固定遊具で体を動かしたりすることを楽しむ。
		○夏から秋への移り変わりを感じ、自然物や生き物の変化に気付いたこと、感じたことを友達や保育者に伝えようとする。
5歳児 ふあいと組	短時間 保 育	○夏休みの経験を遊びに取り入れれたり、友達と自分の考えや思いを伝え合ったりして、遊びを進めていこうとする。
		○運動会のリズム表現やリレー、応援など、いろいろな運動遊びに興味をもって取り組み、自分の力を出す喜びや体を動かす心地よさを味わう。
	長時間 保 育	○遊びや生活を通して、同じチームや役割の友達と力を合わせていく楽しさを味わう。
		○友達と一緒にかけっこやリレーなどで全身を動かしたり、固定遊具で遊ぶことを楽しむ。
預かり保育りす組		○夏から秋への移り変わりに気付き、虫の声や園庭の植物や自然に興味関心をもつ。
		○自分のしたい遊びの中で、友達や保育者に思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりする。
		○預かり保育の生活の流れや、玩具の片付け方等を思い出して、自分でできることを進んで行おうとする。

★CES 掲示板★
～7・8月の姿から～

重点目標1「電気の無駄使いをなくそう」

○電気使用量の削減に努めました

園でも使用していない部屋の電気や空調を消したり、ドアや窓を閉めて冷気を逃がさないようにしたりなどを子どもたちが、意識して取り組むことができるようになりました。

また、月に一度の環境教育の日の中で“電気の無駄遣いってどんなことだろう？”と学級の中で、考える機会を作っていました。日頃の保育の中でも、話題にしていきたいと思います。

○打ち水で涼を得ました。

8月18日午後からみらい館前で、5歳児が打ち水を実施しました。

打ち水用の水は、プールで使用したものをペットボトルにとっておいたものです。

バケツにうつしてヒシャクで水を撒きました。打ち水のあとは、涼しい風が吹き、心地よさを味わいました。



重点目標2「身の回りを整理整頓しよう」

○学期末に園内の身の回りの掃除をしました

幼児部は、7月18日に第1学期終業式を迎え、学期末の節目を感じながら、自分のロッカーや保育室の掃除を行いました。また、3・4・5歳児は“園内もきれいにしよう！”とみんなで、絵本コーナーや遊戯室の床も雑巾が真っ黒になるまで、取り組む姿が見られ、身の回りがきれいになる充実感を味わいました。職員も、7月中旬の3日間を「環境整備日」として、遊戯室・教材室・砂場などの整備を協力して行いました。

○9月の重点目標

「栽培物を収穫する楽しさを味わう」

園では、子どもたちと一緒に夏野菜を育てました。今年も、キュウリ、トマト、ナス、ピーマン等様々な野菜が実っています。また、保育室前には、朝顔の花も咲き始めています。土作りから始めて野菜の苗が生長し花を咲かせ、実がなる過程を見てきた子どもたちと一緒に収穫することで、触れる・匂いを嗅ぐ・など諸感覚を使って楽しみました。2学期以降は、収穫した物を食べたり、食せない大きさや形の野菜はスタンプなど遊びに取り入れたりしていきます。

「日常備蓄で災害に備えよう」

9月1日は「防災の日」です。また8月30日～9月5日は、災害に対する備えを充実強化することにより、災害の未然防止と被害の軽減に資するよう、防災週間として設定されています。園の備蓄品も確認して、新しく入れ替えています。子どもたちとも、避難訓練を通して、災害の備えなどについて知らせていきます。